

## ふるさと応援寄附金で園田さん兄弟が来庁しました

7月7日(火)、役場本庁に、園田明成さん、智彦さん、誠さんの兄弟3人がふるさと応援寄附金納入のため来庁されました。

園田さん兄弟は、平成22年度から、ふるさと応援寄附金を始められ、本年度も寄附金をいただきました。3人の父である園田和生さんは和水町上久井原出身。そのご縁から寄附を始められています。

寄附金は、町内の福祉施策の充実や教育の振興のために使用してほしいとのことです。

和水町の発展のため、応援をいただき、大変感謝しています。



ふるさと応援寄附金で来庁された園田さん兄弟  
(写真左から誠さん、智彦さん、福原町長、明成さん)

## 大学生がふれあいの森で農業体験

7月18日(土)、ふれあいの森で毎月1回行われる定例会が開催され、なごみの里協議会が、熊本県立大学の学生たちとともに、無農薬米作りに取り組みました。

この活動は、平成19年に津田・平野地区の地域づくり団体「なごみの里協議会」と熊本県立大学が包括協定を締結し、里地里山再生の取り組みの一環として行われています。

今回、ふれあいの森にある田んぼで、がんづめという器具を使い、草取りを行いました。学生たちは、黙々と作業しながらも時折笑顔を見せ楽しそうな雰囲気でした。



がんづめで草取りをする学生たち

## 地域おこし協力隊員を紹介します!

5月~7月にかけ、地域おこし協力隊に田仲聡さん・辻光弘さんを委嘱し、2月から活動中の猪口琢真さんと合わせ、隊員は3人となりました。

地域おこし協力隊は、移住定住に向けた空き家バンク制度の支援や地元特産品のブランド開発など、地域づくりのお手伝いを行います。

皆さんの温かいご支援をお願いします。

### 新協力隊員PR

**田仲さん(出身:東京都中央区)**

和水町の活性化に向けて、これから皆さんのもとへお邪魔することがあると思いますが、どうぞよろしく願います。

**辻さん(出身:千葉県市川市)**

3年前に両親の故郷であり私自身も幼少期過ごした熊本に、妻と4歳の息子と関東から移住しました。地域づくりのお手伝いをさせていただきます!



地域おこし協力隊の皆さん(左から田仲さん、辻さん、猪口さん)

## 中学校でもフックフクうがい開始!

6月17日(水)・18日(木)、三加和中の生徒79人と菊水中の生徒118人がフック物洗口を行いました。これは町が推進しているもので、小学校では昨年度から、中学校では今年度から開始しました。

生徒たちは、事前に歯科衛生士からフック物についての説明や指導を受け、洗口液が約1分間ですべての歯に行き渡るように上手に行っていました。

フック物洗口液に含まれる「フッ素」は、歯を強くし、虫歯を予防する効果があります。これからも歯磨き指導や甘味の適正摂取を続けるとともに、フック物洗口を取り入れ、丈夫で強い歯をつくっていききたいですね。



うがいをする三加和中の生徒

## JAF熊本支部と『観光協定』を締結 ~相互協力でさらなる発展を~

6月22日(月)、JAF(一般社団法人日本自動車連盟)熊本支部と観光振興に関する協定を締結しました。この協定により、全国約1,816万人の会員を有するJAFの会員向け情報誌や総合観光情報サイトなどを通じて、和水町の観光やイベント情報をより多くの人に届けることができます。

また、情報サイト内の「地元いちおしドライブコース」を公開することで和水町のドライブ旅行の魅力を発信できるようになります。

10月には、会員親睦イベントを共催予定。相互に協力し、さまざまな活動を行っていきます。



握手を交わすJAF熊本支部駒木事務所長と福原町長

## 豊作と無病息災を願って ~緑彩館で茅の輪くぐり~

6月27日(土)~29日(月)の3日間、大田黒の緑彩館で、「夏越しの大祓・茅の輪くぐり」が行われました。

このイベントは、茅で作った大きな輪を3回くぐって、これまでの半年間の罪穢れをはらい、これから半年間の健康と豊作を祈るもので、今回は、3日間でおよそ500人が来場されました。

お参りをした人には、主催者である緑彩館出荷協議会などが手作りしたミニ茅の輪も配布されました。



緑彩館出荷協議会のメンバー